

## 調達仕様書(請負)

2020～2024年度  
安全・ミッション保証に係る ESA/NASA/JAXA 三極会合支援業務

- ①JAXA 標準約款 [http://stage.tksc.jaxa.jp/compe/fundamental\\_j.html](http://stage.tksc.jaxa.jp/compe/fundamental_j.html)  
契約条件等は、取引基本契約書その他契約書等別の定めがない限り、JAXA標準約款によります。ご希望の方は上記 URL よりダウンロード又は当機構調達部(050-3362-4521)までご連絡ください。
- ②JAXAコンプライアンス総合窓口について  
当機構との業務に関し、社会規範や倫理、法令上問題と感ずることにつき、どなたでも次の窓口に相談することができます。(匿名可)
- (1)JAXA内コンプライアンス総合窓口  
E-MAIL: [JAXAsodan@jaxa.jp](mailto:JAXAsodan@jaxa.jp), TEL: 090-1660-0191  
〒101-8008 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ  
宇宙航空研究開発機構 総務部法務・コンプライアンス課「コンプライアンス総合窓口」
- (2)指定弁護士 岩渕正紀(ふじ合同法律事務所)  
E-MAIL: [jaxatsuho@siren.ocn.ne.jp](mailto:jaxatsuho@siren.ocn.ne.jp), TEL: 03-5568-1616

2019年 月

宇宙航空研究開発機構

## 1. 総則

本調達仕様書は、宇宙航空研究開発機構(以下「JAXA」という。)が契約相手方に発注する「2020～2022年度 安全・ミッション保証に係るESA/NASA/JAXA三極会合技術支援業務」に適用する。

## 2. 関連文書

### 2.1 適用文書

以下に示す文書は、本仕様書で規定する範囲で本仕様書の一部をなす。原則として契約時の最新版を適用する。

- (1) 検査実施要領(安全・信頼性管理部長・契約部長通達第 16-1 号)
- (2) CRM-103005 承認函等(コンフィギュレーション識別文書等)の承認手続
- (3) PCX-03002 成果を報告する文書等の取扱いについて
- (4) 環境への負荷の少ない物品調達に関する選定要領  
(経営企画部長・契約部長・安全・信頼性管理部長通達 16-1 号)

### 2.1 参考文書

本業務を行う上で参考となる文書を以下に示す。

- (1) JMR-001 システム安全標準
- (2) JMR-002 ロケットペイロード安全標準
- (3) JMR-004 信頼性プログラム標準
- (4) JMR-005 品質保証プログラム標準
- (5) JMR-012 電気・電子・電気機構部品プログラム標準
- (6) JMR-013 品質保証プログラム標準(基本要求 JISQ9100)
- (7) JERG-0-049 ソフトウェア開発標準

## 3. 要求事項

契約の相手方は、以下の業務を実施すること。本業務を行うにあたって、参考となる資料を表3に示す。

### (1) JAXA 内準備会合支援

三極会合対応計画の作成・維持(情報収集、計画立案、準備進捗確認、準備会合開催等)を行うこと。

- ・準備会合:年間 8 回(2020 年度)、8 回(2021 年度)、6 回(2020 年度)、準備含めて約 3 時間/回、
- ・場所:JAXA 筑波宇宙センター)

ア)三極会合の成果(JAXA における S&MA に係る課題の抽出/解決)の最大化のための三極会合対応計画の作成、維持を実施すること。

- ①JAXA における S&MA 活動で生じる課題や改善事項を収集する。(ヒアリング等を実施)
- ②収集した情報に基づき、三極会合対応全体計画及び個別のタスクフォース等の対応状況管理表を作成・維持する。
- ③準備会合において調整された三極会合全体計画及び個別のタスクフォース等の対応状況管理表に基づき、各担当の作業結果をフォローする。要すれば計画の見直しを提案する。
- ④三極会合を通じて得られた成果を、準備会合にて報告し、フィードバックを図る。

イ)会合の実施にあたり、以下を実施すること。

- ①準備会合開催 2 週間前に準備会合メンバーへ開催案内(開催日時、開催場所、議題)をメールで展開する。
- ②準備会合当日のアジェンダ案を作成し、事務局へ提出する。
- ③準備会合への出席者を確認し、出席者リストを作成する。
- ④準備会合前日に準備会合メンバーへリマインダ(開催日時、開催場所)をメールで展開する。
- ⑤各担当から三極会合全体計画及び個別のタスクフォース等の対応状況管理表のステータス情報を入手し、準備会合当日までに会議資料に反映する。資料は必要部数印刷する。審査書類の電子データを準備し、関係者へ送付する。
- ⑥準備会合当日に、会場設営(資料配布、TV 会議接続)を行う。

- ⑦準備会合当日に、議事録案を作成し、委員会事務局に提出する。
- ⑧制定された議事録を準備会合メンバーへメールで送付する。

## (2)事務局のNASA/ESA 調整支援

NASA/ESA 事務局とのテレコン調整支援(調整事項整理、調整参加(テレコン)、議事録作成等)を行うこと。

- ・テレコン(20 時頃から 2 時間程度):年間 9 回(2020 年度)、9 回(2021 年度)、9 回(2022 年度)
- ・場所:JAXA 筑波宇宙センター

ア)三極会合対応計画に基づき、テレコン対応を行う。

- ①事務局調整テレコン前に、三極会合全体計画及び個別のタスクフォース等の対応状況管理表の実施状況を JAXA 内関係者にメール等で確認し、把握する。
- ②JAXA 内準備会合において識別された NASA/ESA への要望事項等を、テレコンにおいて調整する。
- ③事務局調整テレコン当日に、会場設営(資料配布、TV 会議接続)テレコンの進行や JAXA の説明支援を行う。
- ④事務局調整テレコンの議事メモ案を作成し、提出する。
- ⑤制定された議事録を準備会合メンバーへメールで送付する。
- ⑥日本が議長を行う 2020 年度及び 2021 年 6 月頃までのテレコンにおいては、NASA/ESA との開催に関する連絡調整、テレコン資料、議事録及び関係者リスト(全て英文)の作成を行う。

## (3)タスクフォース/ワーキンググループ等支援

NASA/ESA 担当者とのタスクフォース/ワーキンググループにおけるテレコンに係る支援(資料作成、テレコン参加、議事メモ作成等)を行うこと。

- ・テレコン(20 時頃から 2 時間程度):年間 6 回開催、場所:JAXA 筑波宇宙センター

三極会合対応計画に基づき、タスクフォース/ワーキンググループの活動を支援するため、以下の事務局作業を実施すること。

- ① タスクフォース対処方針検討・調整・調整結果の反映
- ② JAXA 資料案作成支援・調整・調整結果の反映
- ③ NASA/ESA 資料チェック・JAXA コメント案作成・調整・調整結果の反映
- ④ テレコン当日対応(テレコンでの JAXA 発表支援、議事メモ案作成)

## (4)三極会合現地支援

三極会合に参加し、技術支援(討議支援、JAXA 向け議事録案作成、開催結果・課題等をまとめた報告書案の作成、開催国とのロジ調整等)について、三極会合現地对応として、対処方針に基づく S&MA に係る課題の抽出/解決のための情報収集等の以下の活動を実施すること。

2021 年度:5 日(移動日含まず)開催場所:日本(東京)  
2022 年度:3 日(移動日含まず)開催場所:米国(ワシントン)

- ①会合時、三極会合、及びタスクフォース等のスプリンタについて、会合前に調整・整理した結果の確認や対処方針に基づく議論、調整について助言し S&MA 技術の観点から支援する。
- ②会合時、国内展開向け議事録(案)を作成する。議事録(案)は、参加者に日ごとに展開し、コメントに基づき必要な修正を行う。
- ③会合後、対処方針に係る対応結果、及び新たな S&MA に係る課題の抽出/解決につながる情報を、関係者から収集し、まとめる。
- ④三極会合結果サマリ報告案を作成する。
- ⑤会合開催中のロジに係る事項について、開催国との事前調整、国内関係者への展開、国内関係者の対応の集約、当日の支援を実施する。

#### (5) TRISMAC2021 企画支援

2021年6月頃に三極会合と併せて開催する国際シンポジウム TRISMAC (Trilateral Safety and Mission Assurance Conference)について、その企画の検討及び国際調整の支援を行う。

- ①シンポジウムのテーマ、構成等について、NASA/ESAの事務局とのテレコンにおいて議論、調整をS&MA技術の観点から支援する。
- ②NASA,ESAとの打合せを踏まえて、シンポジウムのアジェンダ等の開催計画の具体化を図る。
- ③開催計画に基づき別途契約するシンポジウム運営支援業者との開催運営に関する調整を支援する。

#### 4. 業務の管理

契約の相手方は、契約の実施にあたり、次の管理を行う。

##### 4. 1. 計画管理／実施計画書

本業務の実施にあたり、業務実施責任者、業務担当者等の作業体制、役割分担等を記載した「実施計画書」を作成し契約後1か月以内にJAXAに提出し、提出後1か月以内に承認を得ること。また、内容に変更を生じた場合は維持を行い、再提出すること。

契約の相手方は、実施計画書に基づいて本業務全体の管理を行うこと。

##### 4. 2. 成果報告書

3項の成果を成果報告書としてまとめ、納入すること。納入部数、期限等は表—2によること。

#### 5. 請負業務を遂行するその他の条件

##### 5. 1. 経験及び実績

本業務の実施にあたっては、以下のいずれかの業務に係る具体的な経験及び実績を有すること。

- ・安全・ミッション保証活動に係る課題の抽出/解決、並びに各部門へのフィードバックを図るために、システム安全、信頼性、品質保証、ソフトウェア安全・開発保証等の海外調整業務活動実績があり、宇宙航空または類似の業務における動向、課題を認識できる能力を有すること。
- ・欧米の複数国間での国際間技術調整をスムーズに進められること。

##### 5. 2. JAXAからの文書・データの開示

契約の相手方が本業務を遂行する上で必要とする文書及びデータ等については、JAXAに開示を求めることができる。

##### 5. 3. 機密保持

契約の相手方は、JAXA規則等に基づき、適切かつ厳格に知的所有権及びノウハウ等の保護を行うために機密保持を行うこと。

契約の相手方は、本業務の実施によって知り得た文書、図面、物件及び知識を、JAXA及びその職員、契約相手方及びその従業員以外の者に開示または提供し、または本業務の実施以外の目的に利用してはならない。

##### 5. 4. 設備、貸付品、支給品等

本業務の実施にあたり必要な場合、JAXAの設備装置類を無償で利用できる。

利用に当たっては、所定の手続を行うこと。この場合、必要な消耗品は、JAXAが無償で提供する。

##### 5. 5. 環境への配慮

本業務の遂行に係り、適用文書(4)の趣旨を踏まえて、環境に配慮すること。

#### 6. 事故等

事故等(例:第三者に損害が生じた場合、セキュリティ上の問題が生じた場合、不測の事態により本業

務の履行に影響を生じた場合を含むがこれに限られない。)が発生した場合は、速やかにJAXAに報告し、指示を求めること。

#### 7. 疑義等

契約相手方は、本請負業務の実施にあたり、本調達仕様書に疑義を生じた場合及び本調達仕様書により難しいと判断される場合は、JAXAの検査員等と協議するものとする。

#### 8. JAXAの検査

JAXAは本請負業務に対して、必要に応じ適用文書(1)に従い検査を実施する。このため、受託者はJAXAの検査員等の作業に対して必要な便宜を図るものとする。

#### 9. 提出書類

表—1に本業務に係る提出書類を示す。

#### 10. 納入品

表—2に本業務に係る納入品を示す。

#### 11. 契約期間

業務の契約期間は2020年4月1日～2023年3月31日とする。

#### 12. 業務の実施場所

本業務の実施場所は以下のとおりとする。

- ・契約相手方
- ・JAXA筑波宇宙センター
- ・その他業務実施上必要な場所

表—1 提出書類

No.	文書名	数量	提出期限	提出場所
1	実施計画書	1部	契約後1カ月以内	筑波宇宙センター

表—2 納入品

No.	品名	数量	納入期限	納入場所
1	2020年度成果報告書	2部※	2021年3月31日	筑波宇宙センター
2	2021年度成果報告書	2部※	2022年3月31日	筑波宇宙センター
3	2022年度成果報告書	2部※	2023年3月31日	筑波宇宙センター

※うち1部はCD-RまたはDVD-ROM等の記憶媒体とする。

以上

## 「参考－１」：用語の説明

安全・ミッション保証：Safety and Mission Assurance (S&MA) ライフサイクルの全てにわたって、安全、信頼性、品質保証、ソフトウェアに係る技術設計、保証活動、管理活動を実施することで、安全にかつ確実に所期の目的を達成させる。これにより、第三者/要員の死傷、システムの機能喪失を防ぎ、プロジェクトのミッション達成の確実化を図る。

システム安全：プロジェクト等の事業遂行に関する計画立案から整備、運用・実施、撤収に至るシステムのライフサイクルの全段階を通じて運用効果、スケジュール、及びコストへの配慮の下に安全を最適化し、事故等のリスクを合理的に可能な限り小さくするため、工学及び管理の原理、基準及び手法を用いること。

信頼性：アイテムが与えられた条件の下で、与えられた期間、要求機能を遂行できる能力。

品質保証：最終品目が規定された全ての品質要求に合致することの確信を得るために必要な全ての活動の計画的、組織的な体系。

ソフトウェア安全・開発保証：宇宙航空分野のソフトウェア開発において、開発プロセス及び製品の要求・標準・手順への適合性を確実にする活動。